

2011年3月17日

ロシア関連メモ 061

国際公共政策研究センター
主任研究員 神野 雅人

現代発展研究所(INSOR): 報告書『未来の発見: 2012年戦略』を公表(速報)

CIPPS と研究交流を行っているロシアの現代発展研究所 (Институт современного развития : INSOR) は、3月15日、報告書『未来の発見: 2012年戦略』(“Обретение будущего. Стратегия-2012” (Discovering the future. Strategy- 2012)) を公表した。



昨年9月及び今年2月にINSORのエフゲニー・ゴントマヘル氏と会談した際、ゴントマヘル氏は、INSORは次期大統領の政策プログラム文書を作成中で、3月に公表予定であると語っていた¹が、今回の報告書がそれに該当する。

INSORは昨年2月に報告書『21世紀のロシア: 望ましい明日のイメージ (РОССИЯ XXI ВЕКА: ОБРАЗ ЖЕЛАЕМОГО ЗАВТРА)』²を公表した。その報告書は21世紀においてロシアが目指すべき国家像を提示するもので、主に西欧的民主主義国家としてのロシアのイメージが提示されていたが、そこへ至るまでの具体的行動計画及びタイムフレームは記載されていなかった。そのため、公表後のロシア国内における議論において、INSORに対し「いかにして報告書で描かれた『望ましい明日の姿』へ向けた第一歩を踏み出すのか」という質問が多く寄せられた。

今回公表された報告書『未来の発見: 2012年戦略』の内容の一部は昨年の報告書の続編にあたり、ロシア近代化のロードマップとなる選択肢を提示し、大衆的討論のたたき台となるもの。

なお、Газета (Gazeta) 紙はウェブサイトはこの報告書に関する討論サイト³を開設した。このサイト及びメール⁴で報告書に対するパブリックコメントを受け、5月17日までに最終的な報告書が作成される予定となっている。2月にゴントマヘル氏が「5月に全体的問題を網羅した分厚い本を出し、世界に問いたいと考えている」と話していたものがそれに該当すると思われる。

以上

¹ 「ロシア近代化に関する現地調査報告書」 (<http://cipps.org/inc/db2img.php?t=essay&imgId=62>) 及びロシア関連メモ No.55 「エフゲニー・ゴントマヘル氏 (INSOR) 面談記録」 (2011年2月7日) 参照。

² 『21世紀のロシア: 望ましい明日のイメージ』はCIPPSにおいて邦訳作成済み。

³ <http://www.cipps.org/inc/db2img.php?t=essay&imgId=56>

⁴ http://www.gazeta.ru/subjects/strategia-2012_diskuscia.shtml

⁴ 2012@insor-russia.ru